

Pickup NEWS

映像・情報・通信の総合展示会「CEATEC JAPAN 2005」が千葉県・幕張メッセで開催
家電各社が大画面テレビを中心に、各種 AV 機器の展示を競う

CEATEC JAPAN 2005 が10月4日から8日まで、千葉県・幕張メッセで開催された。展示会場を見た第一印象は、家電各社が大画面テレビを大々的にアピールしていること。何十台もの大画面テレビを展示してアピールしている様子からは、家電各社が今後の主力商品として位置づけていることがよくわかる。

各社から DLNA 対応製品が出展

AV 機器を相互に接続して家庭内でのコンテンツ共有を行う「Digital Living Network Alliance (DLNA)」は、独自のブースを構えて加盟メーカーの DLNA 対応製品の展示を行った。

ブースでは、異なるメーカーの DLNA 対応機器でネットワークを構築し、相互接続が可能であることをアピールしており、デジオン、ソニー、三菱電機、アイ・オー・データ機器、ケンウッドなどの DLNA 対応機器が相互にコンテンツをやりとりしていた。

実用化が近づいた高速 PLC

将来的な家庭内での HD コンテンツの普及を睨んで、一般家庭で広帯域な通信

を簡単に実現することを目標とした PLC (電力線搬送通信) のデモを、松下電器産業、三菱電機、シャープが行っていた。

盛況だった「ワンセグ」の展示・デモ

2006年4月1日からサービスが開始される携帯・移動体向け地上デジタル放送「ワンセグ」は多くの人を集めていた。

デジタル放送魅力体感プラザ (NHK・JEITA) では、実際に携帯電話 (H.264/AVC、BMLなどを搭載) を使って「ワンセグ」放送を体感することができた。

また、NTTドコモやKDDIなどの通信事業者をはじめ携帯端末メーカーも「ワンセグ」用の端末を展示していた。今後、サービス開始に向けて、対応受信端末が続々と登場することが期待される。

燃料電池搭載の携帯電話が各社から

携帯電話の次世代バッテリーとして最も有力視されているのが燃料電池だ。

KDDI は日立や東芝と、NTTドコモは富士通と燃料電池搭載端末の開発を進めており、各ブースでコンセプトモデルが紹介された。中でも東芝のブースでは

「A5509T」を元にした試作機が充電器やヘッドセットとともにディスプレイされ、目を引いた。これはリチウム電池とのハイブリッド型で従来のバッテリーより3.5倍の長時間使用が可能になるという。ただし実用化は2007年以降になる見込みだ。

骨伝導スピーカーを使ったハンドセット

NTTドコモでは、指にはめて使う携帯電話端末を展示。本体とは Bluetooth で接続し、端末をはめた指を耳の中に入れて通話する。骨伝導によって直接耳の中へ音を伝えるため騒がしい場所でも聞こえ、また話者の声も大きくならない。将来的には指輪ほどのサイズを目指すという。



各社の対応機器を一室に集めて相互接続を実演していた DLNA ブース。



松下電器産業の PLC 展示。他の無線機器との干渉を避けるため、任意の周波数帯をフィルタリングできる。



デジタル放送魅力体感プラザでは、放送局各社がワンセグのメリットをアピールしていた。



NTTドコモが開発中のワンセグ携帯「P901iTV」。データ放送の受信もでき、ウェブサイトにアクセスして番組表の情報が取得できる。

アップルが動画対応の新型 iPod と iTunes 6 を発表
米国では人気テレビ番組の購入視聴も可能に!

10月13日、アップルは新しい iPod、iTunes、iMac を発表した。

iPod は、以前から噂のあった動画再生に対応したもので、QVGA の 2.5 インチ液晶を備える。同時に発表された iTunes 6 経由でミュージックビデオの購入視聴ができ、米国では ABC テレビが放送する人気ドラマも含まれる。

iMac も iTunes での動画配信に対応し、「Front Row」と呼ばれるリビングでの利用を意識したインターフェイスを備えている。

アップルは、数年前から「デジタル・ハブ」として、家庭内における自社製品の役割を提案してきたが、今回の発表でそれが大きく前進する形となる。

Mac へのテレビチューナー搭載を否定し続けてきたアップルだが、インターネットをインフラとして、本来の放送ではな

い仕組みでサービスを提供してきた戦略は、通信・放送融合の実現に苦勞する他社をリードしたといえるだろう。

スティーブ・ジョブズ CEO は、あくまでも「音楽をより楽しむための動画」であることを強調したが、ビデオポッドキャストによって携帯 TiVo とも呼べる環境が完成する。すでに日本でも、新 iPod をターゲットとした動画配信サービスを表明する企業も出てきており、新たなビジネスモデルの誕生も期待される。

<http://www.apple.com/jp/>



新 iPod は nano と同じく白と黒の 2 色。画面は大きく、筐体は薄くなった。

ウェブ型 RSS リーダーが相次いで公開
「goo RSS リーダー」と「Google Reader ベータ版」

goo RSS リーダー

NTT レゾナントは 10 月 4 日、ウェブブラウザ版と携帯電話版の「goo RSS リーダー」を公開した。goo ID を登録すれば無料で利用できる。

ウェブブラウザ版が対応するブラウザは、ウィンドウズ版が IE6.0/Mozilla 1.7.2/Netscape 7.1/Firefox 1.0 以降、MacOS X 版が Mozilla 1.7.2/Netscape 7.1/Firefox 1.0 以降。

携帯電話版は i アプリのみの対応となっている。

Google Reader ベータ版

米 Google は 10 月 7 日、ウェブ型の RSS リーダー「Google Reader」のベータ版の提供を開始した。

キーワード検索やウェブサイトの URL を直接入力して RSS の検索が可能。日本語サイトの検索や登録も可能だ。

Yahoo! JAPAN が検索結果ページを刷新
人手重視からロボット検索重視に転換

Yahoo! JAPAN は 10 月から 3 つの検索に関する新たなサービスを開始した。

3 日には、「Yahoo! 検索」をリニューアル。従来の人目によってウェブサイトを分類していた「カテゴリ検索」から、ロボットが自動的にウェブを巡回してページを収集する「ロボット検索」を優先的に表示する仕様変更を行った。

11 日には、地名や駅名を指定して店舗や商業施設を検索できる「Yahoo! エリア検索」ベータ版の提供を開始。エリア検索では、地名や駅名の入力窓と、施設名や種類の入力窓の 2 つの検索窓が用意されている。

17 日には、ケータイから利用できるモバイル版「Yahoo! 地図情報」を開始。住所や施設名、郵便番号を入力すると、携帯電話の機種に合わせた地図を表示し、天気予報や地域情報も利用できる。

ニフティ、インターネット音楽配信サービス
「MOOCS」を 10 月 31 日に開始

ニフティはインターネットによる音楽配信サービス「MOOCS (ムークス)」を 10 月 31 日から開始する。

MOOCS は、インターネットによりパソコンにダウンロードした楽曲を、「SD-Audio (AAC)」対応の携帯電話や各種オーディオ機器に転送して楽しむことができるサービス。同社がレコード会社などの権利者と直接契約して、サービス開始当初で約 15 万曲、本年末までに約 20 万曲の楽曲を 1 曲 105 円から提供する。

利用者は、同社が無料で提供する PC 音楽管理ソフト「MOOCS PLAYER (ムークスプレイヤー)」をパソコンにインストールすることで、楽曲をダウンロードして聴くことができ、また SD メモリーカードに書き込むことで、携帯電話や携帯音楽プレーヤーなどの各種オーディオ機器で聴くことができる。

マイクロソフト、MSN ビデオの機能を
を拡充。RSS フィードにも対応

マイクロソフトの運営するインターネットポータルサイト MSN は 10 月 4 日、「MSN ビデオ Ver.3.0」を同日より提供すると発表した。MSN ビデオ Ver.3.0 の主な特徴は、

- ・RSS フィードに対応

ビデオコンテンツの更新情報を RSS フィード配信。ユーザーは、RSS リーダーを使って、MSN ビデオのコンテンツ最新情報を受け取ることが可能となった。

- ・電子メール送信機能

ビデオクリップ情報の共有を可能にするため、ビデオクリップごとに個別の URL を発行。この URL をメールで送信することが可能となった。

- ・表示速度が向上

MSN ビデオにアクセスした際のサイトの表示が、従来のバージョンに比べて 2 倍以上の表示速度となった。

<http://jp.video.msn.com/>

ヤフーがケータイコンテンツ事業に参入 デジタルコンテンツを販売する「Yahoo!コンテンツストア」をオープン

ヤフーは、デジタルコンテンツを販売する「Yahoo!コンテンツストア」を10月13日にオープンし、携帯電話向けのサービスを開始した。開設時は59社の占い、ゲーム、電子書籍、金融情報など120タイトルが提供される。

同社は、このサービスを2006年中に開始予定のナンバーポータビリティに向けた「コンテンツポータビリティ戦略」と位置付けている。

ナンバーポータビリティでは、携帯電話の通信事業者を変更しても、同じ電話番号を継続して利用できることから、通信会社の乗り換えが増えると見られているが、メールアドレスやコンテンツは継続して利用することができないため、有料コンテンツ利用者の流動化も予想される。

Yahoo!コンテンツストアは、Yahoo! JAPAN IDによる認証機能により、通信

会社を変更しても継続して同じコンテンツを利用でき、PCでも提供されている「Yahoo!ウォレット」を使って決済することにより、支払いも通信事業者に依存せずに行える。

今後同社では、自由度の高い料金設定やYahoo! JAPANの集客力、PCとの連携などを武器に、幅広いコンテンツプロバイダーが活用できる「オープンなプラットフォーム」を目指すとしている。



開設時は59社、120タイトル。記者発表にはインデックス、サイバード、新聞社など8社が出席した。

沖電気とACCESS、 携帯IP電話の新会社を設立

沖電気とACCESSは10月17日、次世代携帯端末向け音声・映像メディアソフト開発のために共同出資会社「OKIACCESSテクノロジーズ」を11月1日に設立すると発表した。

新会社では、携帯IP電話などの次世代携帯端末上でデータ・音声・映像を統合したアプリケーションを開発する。

具体的には、沖電気の音声・映像技術とACCESSの「NetFront Mobile Client Suite」に統合する商品を開発する予定。モバイルコマース利用時の音声・映像による購入決済サポートや、音声・映像コミュニケーションを活用したPoC (Push to talk over Cellular)などに適用される見通しだ。

記者会見でACCESSの荒川社長は、新会社設立の狙いは、開発スピードの加速であることを強調した。

今度は楽天、TBS株を15.46%取得 統合を申し入れ

楽天は10月13日、TBSの発行済み株式15.46%を取得し、共同持株会社化を通じた統合を申し入れたことを発表した。

同日行われた記者会見で楽天の三木谷社長は、「TBSと楽天は相性がいいのではないかとコメント。その上で、世界に通用するメディアグループ設立を目指したいとした。

同社は、株式取得比率は15%余りに留めていること、共同持株会社による経営を提案していることなどから、敵対的買収ではない点を強調している。一方のTBSは、戸惑いを隠せない。

ライブドア対フジサンケイグループとの攻防後、ネットと放送融合のあり方が問われている。しかし、スピード経営が競合優位性につながるネット企業と、公共性や放送法による規制がある放送業界では、まだ温度差があるのは否めない。

この提携は次の一手への布石か?! サンとGoogleが複数年にわたる戦略的提携を締結

10月4日、米サン・マイクロシステムズと米Googleの両社は複数年にわたる戦略的提携を結ぶと発表した。

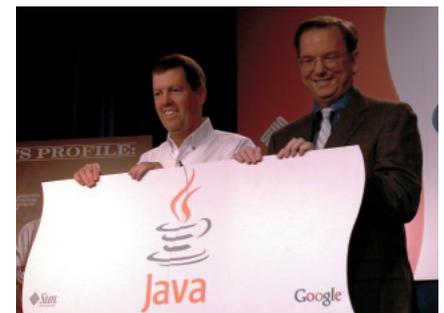
今回の提携は、サンがJavaランタイムのダウンロードパッケージ、オープンオフィスなどのソフトウェア製品にGoogleの「Google Toolbar」を含め、広く配布することに協力する一方、Googleはサンのサーバー製品を導入するというもの。

また、両社はJRE、OpenOffice.orgなどのサンのテクノロジーをプロモーションする可能性について共同で模索するとあり、今後、両社がさらに緊密な提携を結ぶ可能性があることを示唆している。

米国のIT系メディアによると、Googleは今後Java Community Process (JCP)への関与を深める、サンはオープンソラリスの研究開発でGoogleと連携していくといった発言もあったと報じており、こ

の提携がマイクロソフトに対抗する色合いの深いことを示している。

記者会見場には、サンのCEOスコット・マクネリ氏、GoogleのCEOエリック・シュミット氏(元サンのCTO)のほか、先ごろGoogleにチーフインターネットエンジェリストとして参加したインターネットの父ビント・サーフ氏の姿もあった。



複数年にわたる戦略的提携を発表したサンのCEOスコット・マクネリ氏(左)とGoogleのCEOエリック・シュミット氏(右)。

「ポッドキャストは僕らにとって強力なツール」

エフエム那覇社長 平良斗星氏

エフエム那覇は、ポッドキャストに積極的に取り組む地域FM局だ。同社の平良斗星社長に、ポッドキャストについてお聞きした

「エフエム那覇では、これまでもストーリーリングなどをやっていますし、ポッドキャストもiTunesが対応する前から提供していました。

大手のラジオ局ですと、ポッドキャストをやるにしても楽曲がかけられないとか出演者の認識など、まだまだ課題があります。エフエム那覇はコミュニティーFM局ですので、地域の情報や音楽を中心に紹介するような番組が多いです。幸い、沖縄には優れたミュージシャンが数多くいますし、楽曲使用についても直接許可がもらえます。メジャーな曲を流せなくてもいい番組ができます。

我々の強みは、地域コミュニティーと密

接な関係を持っている点。ポッドキャストを使うと、全国に沖縄の情報を発信できますし、それを出演者も喜んでくれます。満足してもらえればまた出てくれますし、その好循環を作ることができます。

近々ブランド名をタイフーンfmに変えて、運営している沖縄情報サイトのURUMAXと合わせてリニューアルします。それを機に、これまで以上に積極的にポッドキャストに取り組んでいくつもりです。」

<http://www.fmnaha.jp/>



「僕らの強みは、人が集まるコミュニティー」と平良社長。

「ワンセグ」が2006年4月1日にスタート!

NHK・民放キー5局がサービスの開始を発表

2006年4月1日、地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービスが開始される。

このサービスは「ワンセグ」と呼ばれ、家庭で見る地上デジタル放送と同様の番組を、データ放送を含めて視聴できる。また、同時に携帯電話などの通信機能(インターネット)を使って、インタラクティブなサービスも利用できる。

同日にサービスを開始する放送局は、全国で45局。番組の視聴は無料。



NHK、民放キー5局のアナウンサーによる概要説明。

IPv6 技術によるモバイルインフラ モバイル救急救命室の実証実験公開

10月13日、奈良先端科学技術大学院大学と奈良県生駒市消防本部は、IPv6技術を使った応用事例として「Mobile ER (モバイル救急救命室)」の実証実験を公開した。

このMobile ERは、救急車にセンサー、サーバー、モバイルルーターを装備し、救急隊員の頭に装着したカメラを使い、患者の状態、事故現場の画像、心電図などのデータを病院で待機する医師に送信し、的確な診断と治療を行うもの。

この実証実験は、移動体とのインターネットを使った通信の応用事例として、またIPv6技術の特徴を生かした応用事例としての意味がある。

IPv6は広いIPアドレス空間があることが知られているが、Mobile IPv6 (RFC3775)、Network Mobility (RFC 3963)を使うことが可能で、車などから、

移動しながら通信をするための基盤を提供している。

現在は、通信インフラとしては広く普及している無線LAN (802.11b/g)、3G携帯電話 (EV-DO) を使っているが、将来的にはインフラの広がりとともに、WiMAX、iBurstなどの広帯域なインフラを利用することも想定している。



救急車からは刻々と現場の画像が伝送される。今後は広帯域インフラを採用することで、画質の向上、動画への対応なども可能。

オーバーチュアが広告主向けに 利用法を学べるスクールを開校

オーバーチュアは、同社の検索連動型広告「スポンサードサーチ」を利用する広告主向けに、効果的な利用法を学べるスクール「オーバーチュアサーチマーケティング・カレッジ」を開校した。

最近、増加している中堅企業や個人事業主は、キーワードの設定、予算管理、効果測定を自身で行うケースが多いため、習熟度・目的に応じて、初級・中級・上級の3つのコースを用意した。スポンサードサーチのガイドラインの解説から、効果的なキーワードの発掘、入札価格の設定、予算管理や効果測定ツールの利用法にいたるまで、さまざまなテーマで学習できる。受講料金は3万円からで、定員は各テーマごと50名。2005年末までは体験入学期間として、すべてのコースを無料で提供する予定だ。

<http://www.overture-pr.jp/smc/>

IIJ、個人向けサービスIIJ4U・IIJmioの迷惑メール対策を強化 「Outbound Port 25 Blocking」を導入

インターネットイニシアティブ(IIJ)は、10月18日より個人向けインターネット接続サービス「IIJ4U」「IIJmio」に、迷惑メールを規制する「Outbound Port 25 Blocking」(OP25B)を導入した。これにより、日本国内における、主要携帯電話事業者のユーザー宛てに送られるメールの遮断が開始された。

迷惑メールの多くは、プロバイダーの送信メールサーバーを利用せず、直接、宛先ドメインのメールサーバーにTCP25番ポートを用いて接続し送信されていることから、IIJでは、IIJ4U・IIJmioのブロードバンド接続サービスにおいて、同社指定のメールサーバーを経由しない主要携帯電話事業者のユーザー宛てのメール送信を禁止することで、携帯電話向けの迷惑メールによる被害の防止に努めている。

迷惑メール対策に関しては、本年3月15日に国内の主要ISPおよび携帯通信事業者など約30社が、迷惑メール対策ワーキンググループ「JEAG」を創設し、効果的な対策の検討を開始。最近では、OP25Bによる迷惑メール対策が、ISPの間で徐々に広まりつつある。

しかし、OP25Bを完全に適用すると、例えばレンタルサーバーなど契約ISP以外からメール送信ができなくなるなど、ユーザーの利便性が損なわれることから、ISPの対応はまちまちだ。IIJのように携帯電話事業者へのメール送信だけを規制するケースや、BIGLOBEのように同一IPアドレスから大量のメール送信があった場合に規制するケース、WAKWAKのように固定IPアドレスオプションを利用しない場合には全面的に規制するケースなど、まだ足並みが揃っていない。

各種オーサリングツールもバージョンアップ マクロメディアが新製品群を発表

マクロメディアは10月3日、Flashをベースにした動画コンテンツのストリーミングメディアサーバー「Flash Media Server 2」を発表した。

Flash Media Serverは、従来はFlash Communication Serverという名称で、ビデオチャットや動画ストリーミング配信のプラットフォームとして利用されてきた製品。今回のバージョンアップで動画機能が強化され、より高画質な再生が可能になった。

マクロメディアによれば、Flashは多くのOSとウェブブラウザに対応しているため、もっとも再生環境の普及率が高い動画フォーマットだとしている。

また、10月12日には各種オーサリングツール群「Flash Professional 8」「Flash Basic 8」「Dreamweaver 8」「Studio 8」「Fireworks 8」を発表した。

@hi-hoの共用レンタルサーバーサービス「プランエントリー 10/100」がスタート ウイルスチェック、スパムフィルター、サブミッションポート機能を標準装備

インターネットサービスプロバイダーhi-hoは、レンタルサーバーサービス「@hi-ho(アットマークハイホー)」において、共用型サーバーサービス「プランエントリー 10」「プランエントリー 100」の2コースを10月より提供開始した。

「プランエントリー 10/100」では、セキュリティ機能が強化されているのが特徴。ウイルスチェックとスパムフィルターに加えて、サブミッションポート機能を標準装備している。

最近、多くのISPで他サイトに向けたメール送信パケットをブロックする「Outbound Port 25 Blocking」を導入する動きがある。契約したISPのメールサーバーのみを使用する場合にはまったく問題にならないのだが、メールサーバーはレンタルサーバー上に置き、ISPはその

サーバーへのアクセス回線として使用する場合、Outbound Port 25 Blockingが設定されていると、メールを読むことはできるが送信することができない。

@hi-hoのサーバー共用型サービスでは、サブミッション機能によりこれを回避できるので、どのISP経由でもメールを自由にやりとりすることができるわけだ。

「プランエントリー 10/100」では、他にレンタルサーバーの初心者でも運用できる

ように、サーバーの状態や設定をウェブ上で操作する「管理パネル」を使用できるのも特徴だ。

なお、「プランエントリー 10」「プランエントリー 100」では12月30日まで月額費用を無料とする「年内無料キャンペーン」を実施している。11月には専用サーバーサービス「プランスタンダード」も提供開始の予定だ。

<http://home.hi-ho.ne.jp/is/athiho/>

プランエントリー 10/100の機能比較

価格はすべて税込

	プランエントリー 10	プランエントリー 100
初期費用	なし	なし
月額料金	2,940円	4,725円
容量	メール: 100MB(アカウント10個) ウェブ: 10MB	メール: 100MB(アカウント100個) ウェブ: 100MB
管理パネル		
ウイルスチェック		
スパムフィルター		
サブミッションポート対応		
SSLの利用		
稼働監視	死活監視	死活監視

標準装備 : 未対応

ヤマハ、「使いやすさ」「わかりやすさ」を追求した「RTシリーズ」の新モデル イーサアクセスVPNルーター「RT107e」を発売

ヤマハは、ルーター「RTシリーズ」の新モデルとして、イーサアクセスVPNルーター「RT107e」を10月初旬から販売開始した。

「使いやすさ」と「わかりやすさ」にこだわったこの製品最大の特徴は、従来ネットワーク初心者では難しいとされていたIPsecによるVPN設定を、「かんたん設定ページ」でウェブブラウザを利用してできる点。難しいとされる設定も、GUI画面から9ステップの入力で可能だ。

メンテナンスにおいても使いやすさを発揮する本製品は、前面部に「STATUSランプ」を搭載。監視機能を有効にすることで回線状態とVPN接続先の機器を監視し、異常があると点灯表示で知らせてくれる。さらに、接続先のサーバーまでの経路を指定することで、ネットワーク障

害時の問題箇所がLAN側かWAN側なのかを目で確認できる。

もちろん、本製品は使いやすいだけではない。LANポート×4(スイッチングハブ)、WANポート×1と中小規模ネットワークに無駄のない構成で、最大VPN設定数は6。VPNスループットも最大100Mbit/s、IPsec使用時でも最大

50Mbit/sと通信にストレスを感じさせず、暗号化もDES/3DES/AESのハードウェア処理に対応。ファイアウォール機能のIPv6化も果たしている。

希望小売価格は71,400円。高速処理を高いコストパフォーマンスで実現する製品だ。

<http://netvolante.jp/products/rt107e/>



背面の「DOWNLOAD ボタン」を押すだけで、最新ファームウェアに更新できる。

フロントのLED点灯表示で、障害の発生をいち早く確認。迅速なトラブル対応が可能。

Event Calendar

これから開催される国内外の主要なIT関連イベントをご紹介します。イベント情報掲載希望の方は、次のメールアドレスまでご連絡ください。
im-release@impress.co.jp

期日	名称	場所	URL
11/9-11/10	eドキュメント JAPAN 2005	東京流通センター	http://www.e-document.jp/
11/10-11/11	Linux Kernel Conference 2005	青山ダイヤモンドホール	http://osdn.jp/event/kernel2005/
11/11-11/12	Portable Media EXPO & Podcasting Conference	オンタリオ(米国)	http://www.portablemediaexpo.jp/
11/16-11/19	3G World Congress & Exhibition 2005	香港(中国)	http://www.3gcongress.com/
11/15-11/16	HOSTING-PRO 2005/Fall	TIME24(東京青梅)	http://hosting-pro.jp/
11/18	CNET Japan Innovation Conference 2005 Autumn	六本木アカデミーヒルズ	http://japan.cnet.com/info/cjic2005a/
11/28	第4回 アクセス解析カンファレンス	虎ノ門パストラル	http://www.69day.jp/
11/29-11/30	mobidec2005	秋葉原コンベンションホール	http://www.mcf.to/temp/mobidec2005.pdf
11/29-12/2	Seybold	サンフランシスコ(米国)	http://www.seybold365.com/sanfrancisco/
11/30-12/2	2005 産学官技術交流フェア	東京ビッグサイト	http://www.nikkan.co.jp/eve/
11/30-12/3	2005 国際ロボット展	東京ビッグサイト	http://www.nikkan.co.jp/
11/30-12/3	第7回 図書総合展	パシフィコ横浜	http://nii-mag.nii.ac.jp/j.x?v=51&u=3282
12/5-12/8	Search Engine Strategies	シカゴ(米国)	http://www.jupiterevents.com/sew/fall05/
12/6-12/9	IPv6 Summit 2005	レストン(米国)	http://www.usipv6.com/
12/12-12/16	INTEROP New York	ニューヨーク(米国)	http://www.interop.com/newyork/
12/12-12/14	Syndicate	サンフランシスコ(米国)	http://www.syndicateconference.com/live/38/
2006/1/6-1/8	International CES	ラスベガス(米国)	http://www.cesweb.org/
1/9-1/13	Macworld Conference & Expo 2006	サンフランシスコ(米国)	http://www.macworldexpo.com/
1/25-1/27	FC EXPO 2006(第2回国際水素・燃料電池展)	東京ビッグサイト	http://www.fcexpo.jp/jp/

上記の情報は変更になる場合があります。応募・参加の際には必ず主催者にお確かめください。

インターネットマガジン / 株式会社インプレスR&D

©1994-2007 Impress R&D

ピックアップニュース INTERNET magazine 2005 12 63



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp